

留 学 報 告 書

記入日:2018年9月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学アーバイン校 現地言語: University of California, Irvine
留学期間	2018年6月～2018年9月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年9月14日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月上旬 2学期:1月上旬～3月中旬 3学期:3月下旬～6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	27311人
創立年	1965

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	円	備考
授業料	5616	617760円	
宿舍費	2100	231000円	on campus
食費	480	52800円	
図書費	210	23100円	
学用品費	21	2310円	
教養娯楽費	560	61600円	
被服費	464	51040円	
医療費	0	0円	
保険費	225	25000円	形態:
渡航旅費	1136	125000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	10812	1189320円	

渡航関連

渡航経路: 成田空港—ロサンゼルス国際空港

渡航費用

チケットの種類 往復券

往路 _____

復路 _____

合計 125000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明大サポート

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

学生寮 Arroyo Vista

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3) 住居を探した方法:

特に探してはいない。大学側から一番勧められていたプログラムだった。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キッチンと水回りは基本 10 人弱の居住者と共有。現地の学生と留学生はちがう寮に配属される。私たちのときは中国人がすごく多かった。友だちができて楽しいが、エアコンなどもないので、お金があるなら off campus の寮をお勧めします。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題は特にありませんでしたが、summer session office が大学内にあるので履修のことや生活のことで気になることがあればそこにいくといいと思います

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

アーバインは基本的にすごく安全な county だったので特に防犯対策はしていませんでした。でも日本とおなじ感覚でいてはだめだと思っていたので、図書館にいても寮にいても私物を置いて長い間その場所を離れることは絶対にしませんでした。週末アーバインの外に行く際には、貴重品は小さいバッグに入れて常に体の前に持ち歩いたり女子だけでは出歩かないようにしていました

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学敷地内を行動する分には、どこにいてもまあまあ快適な wifi に接続できるのでなにも問題は 없습니다。カフェにも必ずと言っていいほど wifi があります。けれど、週末出かけるときや大学のアクティビティに参加するときには絶対に困るので、sim カードを用意することをおすすめします。私は wifi のみで生きれましたが、出かけるときには友だちに頼りっぱなしでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本でデビットカードをつくっていたのでそれで払っていました。現金はスーパーにいったときは uber をとるときなどの割り勘で必要なくらいだった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

自炊をするのであれば、日本の調味料はあるととても助かります。クレラップ、ジップロックも日本のもののほうが有能。基本的に手に入らないものはないが、現地は物価が高いので、もっていけるものはもっていったほうがいいかなと思います

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に自分のクレジットカードから支払いました

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
進路相談室
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
教育業界
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学中は正直勉強が忙しすぎて就活のことはなにも考えられませんでした。登録した就活サイトからのメール情報だけチェックしたり、たまに連絡を取る友だちから就活の情報を得たりしていました。就活を理由にこの留学を断念するのは本当にやめたほうがいいです。生活の仕方次第でこれからの人生に役立つような生活力や人間力がつきます
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
gender&popular culture	ジェンダーと文化
科目設置学部・研究科	
履修期間	session 1
単位数	4 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Erica Maria Cheung
授業内容	メディアからみるジェンダー。主にはintersexualityと呼ばれる人種と女性という立場の両方をもつ人々の見られ方や映され方と実状について。ジェンダーというよりは女性に焦点が当てられている。
試験・課題など	週に一回、keyword glossary という課題があって、required readings の中から自分がキーワードだと思う単語を拾って定義づけする課題があった。あと週に一回15点クイズがある。ファイナルはグループワークで今まで習ったものを組み込んだビデオをつくるもの。
感想を自由記入	先生がものすごくサポーターティブで面白くて学ぶ気があるなら最高だと思います メディア、社会学系に興味があるならぜひとるべき 私はメディアに興味があったわけではないけれど、広告とかって日常にあふれているものなので見方がかわっておもしろいです

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
sociology 2	社会学イントロダクション
科目設置学部・研究科	
履修期間	session 1
単位数	4 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に170分が2回
担当教授	Tania DoCarmo
授業内容	社会的な社会の見方とグローバリゼーションについての講義
試験・課題など	課題は多い!!! 毎回のリーディングとそれに対するレスポンス 500文字?とオンラインクイズ(オープンブック) プレゼンとファイナルはエッセイ! でも先生は優しいので提出物を出せばぜったいいい評価はきます
感想を自由記入	課題量は UCI 全体でみても多いほうらしいですが質にこだわらない先生なので(笑)安心して履修できると思います。オフィスアワーにいきまくと加点をしてくれます。内容はそんなに難しくありません。アメリカで考えるグローバリゼーションなので、留学生として自分自身がいい題材になって考えやすかったと思います

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
introduction to psychology	心理学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	session 2
単位数	4 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が3回
担当教授	Dmitry Tsukerman
授業内容	本当に心理学の入門といったかんじの授業内容。心理学を学習済みの人にとってはほとんどが既習の知識だと思います。心理学者やいろんな心理学的カテゴリーの語句や事例を学びます
試験・課題など	ミッドタームが二回、ファイナルタームが一回計三回のテストがあります。選択式40問で三つのテストの中で試験範囲は被りません。宿題は二回、参考文献をつかわなくていい小さめのエッセイなのでタフではありません。基礎的なテスト勉強さえちゃんとすれば重い授業ではないと思います
感想を自由記入	先生がめちゃくちゃ良いです! 私が受けたときはほとんど周りは現地のフレッシュマンで留学生は私くらいしかいませんでしたが、周りの生徒に助けられながらほんとに楽しく勉強しました。オフィスアワーにいきまくと先生との仲を深めることが大切だと思います。関係性を見る限りTAを先生がリスペクトしているようで、課題の評価もTAがつけているみたいだったのでTAともなかよくなっていくとよいです。アメリカは日本よりも心理学が進んでいるので興味のある方はぜひ!! とるべきです。つかっている教科書もわかりやすいので勉強しやすかったです

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to early childhood education	幼児教育入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	session 2
単位数	4 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が2回
担当教授	Collins, Penelope
授業内容	保育園の先生～小学校の先生になる人にとって役に立つような、「ハイクオリティーな幼児教育とはどうあるべきか」を考える授業。子どもの発達段階や心理的しくみについてビデオや教科書も用いながら学びます
試験・課題など	毎回 requirement reading はありましたが、授業では扱われないので読まずにいてもいけます。オープンブックで時間制限のないオンラインクイズが全体を通して3, 4回、グループアサイメントが4.5回ファイナルはショートアンサーが何問か問われるテストと幼児教育のためのアクティビティを考えてそれについてのインフォグラフィックをつくるというものでした
感想を自由記入	私は高校の教師の免許をとろうとしていて、元々教育学に興味があったので履修しましたが多くの現地の学生はいわゆる楽単だから履修していると言っていました。この授業も留学生は私だけのようでしたが、先生がチャームな人でスライドは授業前にサイトにあがるので予習も復習もしやすかったです。教育学にまったく興味のないことではつまらないかもしれませんが、自分が将来子育てをするときに役に立つような知識がつかます。あとは自分の育ってきた環境を振り返ることもできるのでためになるし苦でないしおすすめできる授業です

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2016年 1月～3月	オリエンテーション参加等
4月～7月	学部による必修の TOEIC 受験
8月～9月	
10月～12月	出願
2017年 1月～3月	選考、留学準備、留学先の履修登録
4月～7月	留学に向けた買い物など
8月～9月	留学に向けた買い物など
10月～12月	資金のことを考える、英語の勉強
2018年 1月～3月	諸手続き、航空券手配、準備講座、資金稼ごのためのバイト、英語の勉強
4月～7月	諸手続き、資金稼ごのためバイト、英語の勉強、体調管理、渡航、セッション1開始 (中間、期末テスト or レポートあり)
8月～9月	5日間くらいの holidays、セッション2開始(中間、期末あり)
10月～12月	留学報告書作成、奨学金申し込み

留学体験記

留学しようと思った理由	元々英語がすきで、学生のうちに絶対に留学したいと高校のときから思っていました。親との金銭的な話し合いや履修の兼ね合い的に適していたのがこの時期でした。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学先で履修予定の科目について予習をしておくようによく言われますが、実際に受けてみると自分の予想していたものとはちがっている場合もあるので、それよりも英語の勉強をしっかりとしておくことが重要だと思います。英会話や長時間の講義に耐えられるくらいリスニング力、あとはほとんどの場合課題で多くの英語文献を読むことになるのでリーディングにも慣れておく必要があります。あとは履修予定の科目の候補を何個か用意しておいたほうがいいです。授業がはじまっている中でコースチェンジをするため、候補がないとその分授業に遅れてしまいます。
この留学先を選んだ理由	2年次秋出発の学部の協定留学に親との話し合いの結果参加できず、教職との兼ね合いも考えながら三か月以上の英語圏留学プログラムを探していたときにこのサマーセッションを見つけました。ガイダンスの中で留学先大学のレベル的に勉強がすごく大変でゆるい留学ではないと聞いていたので、最近なにか頑張っていない自分に対して喝をいれるために挑戦しようと思いました。
大学・学生の雰囲気	サマーセッションは現地の学生の中でも夏休みに開講されている授業をとりとうとするような学習に対して意欲のある人が多いので、本当にみんな頭が良くて努力家です。カリフォルニアという立地もあって本当にいろんな国からの学生たちが集まっています。大学ははじめ迷子になるくらい広くて、こんな場所で勉強できるなんてとワクワクするような雰囲気です。
寮の雰囲気	私のときは中国人がすごく多かったです。たまに映画鑑賞やカラオケなどのイベントが催されます。いろんな寮に遊びに行けば友だちもたくさんできると思います。
交友関係	サマーセッションが留学生向けに小旅行やサーフィンなどのアクティビティをたくさん用意してくれているのでそれに参加するといくらでも友だちはできます。積極的に自分から話しかけることが大切だと思います。休日や学校おわりはよくアクティビティーを通じてなかよくなった友だちとあそんでいました。
困ったこと、大変だったこと	勉強とあそび、家事の両立です。サマーセッションは勉強量が大変だと聞いていたけどせっかくアメリカにきたのに図書館やカフェにこもっているような生活はしたくなかったので、休日にあそぶために平日の放課後をつかって本当に一生懸命勉強しました。(笑)結果的に睡眠時間を削ることになりますが、生活をしているうちに要領がつかめてきて充実した三か月を過ごすことができたと思います。
学習内容・勉強について	サマーセッションでの生活リズムは本当にとる授業によって変わると思います。私は社会学と教育学に興味があったのでそれに関連する授業をとっていました。どの授業もオフィスアワーに参加したり、現地の学生となかよくなったり積極的に自分から行動をおこすことが苦労を少なくする近道だと思います。授業内容は本当におもしろくて今後の人生に役に立つような教養がつくものばかりです。
課題・試験について	これも授業によりますが、基本的に課題量は膨大です。アメリカの大学は予習が大切といった感じがしました。予習をしっかりとっておけば授業についていくことはできます。試験前はひたすらに勉強をすればなんとかなります。楽しむ姿勢が大切だと思います。

大学外の活動について	サマーセッション主催のアクティビティのほかに自分たちでウーバーをとって出かけていました。基本は大学内の活動が充実しています。
留学を志す人へ	カリフォルニア大学サマーセッションは、きっとほかの留学プログラムに比べてきついものではあると思いますが、終わったあとの達成感は最高です。世界中から集まるモチベーションの高い学生との関わりは本当に刺激的です。自分次第でどんな留学をするかは本当に変わってくると思いますが、「いっちょやったるか！」という意志のある学生には特におすすめします。自分の人生の今までを振り返ったり、これからを考え直したり、自分自身と向き合う時間がたくさんあります。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中						遊び、旅行、買い物	遊び、旅行、買い物
	課題、予習	授業	課題、予習	授業	課題、予習		
午後	息抜き		息抜き				
	課題	授業	課題、予習	授業	課題、たまにショッピング		
夕刻	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム		
夜		予習	課題、予習	課題、予習	おしゃべり		